

# 経済・金融 フラッシュ

## 中国経済：8月の製造業PMI ～非の打ちどころの無い好結果

経済研究部 上席研究員 三尾 幸吉郎

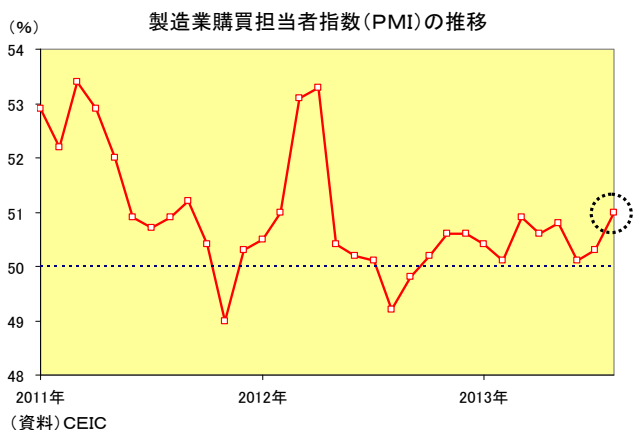
TEL:03-3512-1834 E-mail: mio@nli-research.co.jp

- 8月の製造業購買担当者指数（PMI、季節調整済）は51.0%と、7月の50.3%から0.7%ポイント上昇、拡張・収縮の分岐点となる50%を11ヵ月連続で上回った。その要因を見ると、30%の比重を持つ新規受注指数が1.8%ポイント上昇したことが総合指数を0.5%ポイント押し上げており、PMI改善の主因となった。
- また、新規輸出受注が50.2%と前回を1.2%ポイント上回り、完成品在庫は前回を上回ったものの50%割れであり、生産経営活動予想指数は59.4%と前回を3.0%ポイント上回った。従って、今回のPMI改善は、内外受注の改善を反映した需要増によるものであり、過剰在庫を圧縮する動きも継続、企業マインドにも底打ちの兆しがでてきたことから、非の打ちどころの無い好結果だったといえるだろう。

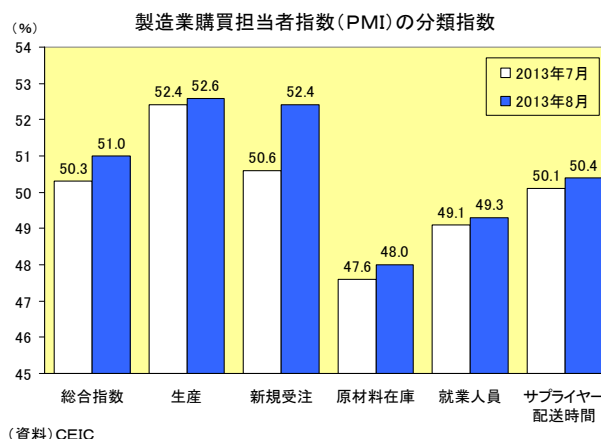
### 【 総合指数は0.7%ポイント上昇 】

9月1日（日）、中国物流購買連合会と国家统计局サービス業調査センターは8月の製造業購買担当者指数（PMI、季節調整済）を発表した。それによると、8月の総合指数は51.0%と7月の50.3%から0.7%ポイント上昇、直近の最高水準50.9%（2013年3月）を上回った。また、拡張・収縮の分岐点となる50%を11ヵ月連続で上回っている（図表-1）。

（図表-1）



（図表-2）



分類指数を見ると（図表-2）、生産指数は前回の52.4%から52.6%へ0.2%ポイント上昇、新規受注指数は前回の50.6%から52.4%へ1.8%ポイント上昇、原材料在庫指数は前回の47.6%から48.0%へ0.4%ポイント上昇、就業人員指数は前回の49.1%から49.3%へ0.2%ポイント上昇、サプライヤー配送時間指数（逆指数）は前回の50.1%から50.4%へ0.3%ポイント上昇（悪化）した。このように8月は、30%の比重を持つ新規受注指数が1.8%ポイント上昇したことが、総合指数を0.5%ポイント押し上げており、PMI改善の主因となった。

## 【 非の打ちどころの無い好結果 】

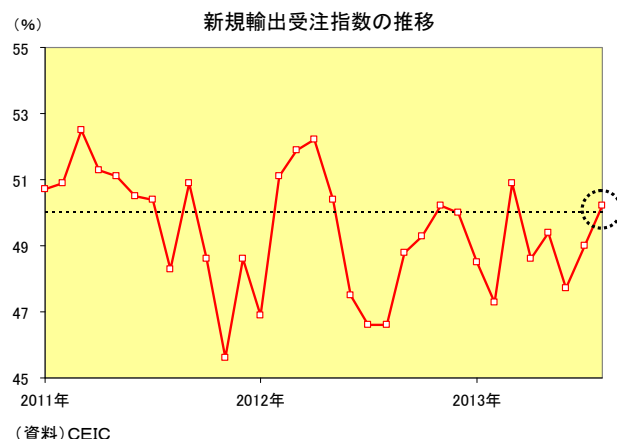
その他の指数の動きを見ると、輸出の先行指標として注目される新規輸出受注指数も50.2%と前回の49.0%を1.2%ポイント上回り、5ヵ月ぶりに50%を上回った（図表-3）。

また、在庫関連では、完成品在庫指数が47.6%と前回の47.3%を0.3%ポイント上回ったものの5ヵ月連続で50%を下回っており、前述のとおり原材料在庫指数も50%を下回っていることから、在庫圧縮の動きは8月も継続したようだ（図表-4）。

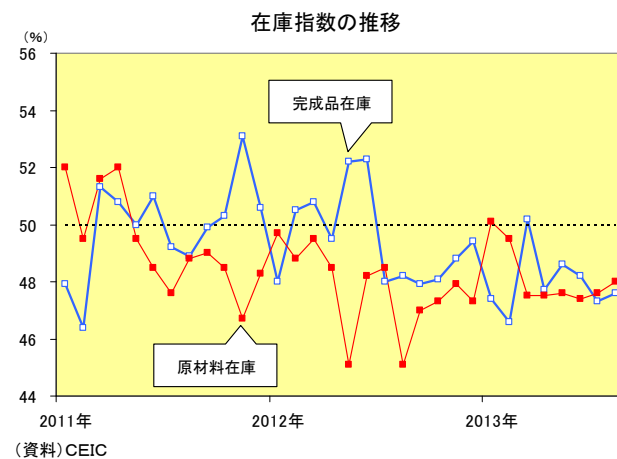
他方、今後3ヵ月以内の生産経営活動に対する楽観度を示す生産経営活動予想指数は59.4%と前回の56.4%を3.0%ポイント上回り2ヵ月連続で改善、企業の将来に対する見方にも底打ちの兆しがでてきた（図表-5）。

このように、今回のPMIは内外受注の改善を反映した需要増によるものであり、過剰在庫を圧縮する動きも継続、企業マインドにも底打ちの兆しがでてきたことから、非の打ちどころの無い好結果だったといえるだろう。

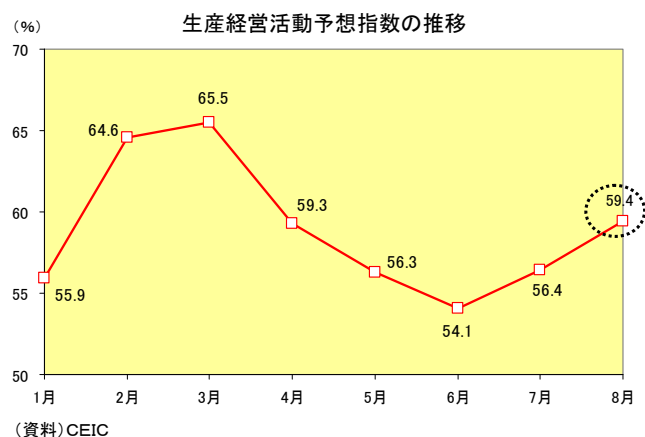
（図表-3）



（図表-4）



（図表-5）



（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。